診断テスト［A］

中1／つまずきを 見つける 20問／目標 20分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・次の20問を解いて、答えを □ に書く。計算は余白か別の紙でする。わからなければとばす。
・①④は 正しい方を ○ でかこむ。③は 2つ以上 あるとき「, 」で 好きな 順に 書く。
・分数は 約分。小数も ○。−は 省かない。+ と 単位は なくても ○。素因数分解は 2^2 でも 2×2 でも ○。

① 基準より 重い ときを + と する。
基準より 3kg 軽い ことを 数で 表すと？

−3 kg　+3 kg

② −3.5 より 大きく 2 より 小さい
整数は 何個 ありますか。 □

③ 絶対値が 3 の 数を
すべて 書く □

④ −5 と −2 の 大小

−5 > −2　−5 < −2

⑤ $(+3) + (-8)$ □

⑥ $(-4) + (-6)$ □

⑦ $(+2) - (-5)$ □

⑧ $(-13) - (+4)$ □

⑨ $-7 + 4 - 9$ □

⑩ $(-4) \times (-2)$ □

⑪ $(-2) \times (-3) \times (-1)$ □

⑫ $(-6) \div (-\frac{2}{3})$ □

⑬ -3^2 □

⑭ $(\frac{2}{3})^2$ □

⑮ $5 + (-3) \times 2$ □

⑯ $(-12) \times (\frac{1}{3} - \frac{3}{4})$ □

⑰ 60 を 素因数分解 □

⑱ 48 に できるだけ 小さい 自然数 n を
かけて 自然数の 2乗に する
n は いくつ？ □

⑲ 身長を 基準との 差で 表すと，最高は +8cm，
最低は −4cm。この 2人の
差は 何cm？ □

⑳ 5人の 点数を 基準 50点との 差で 表すと
+3，−2，+5，−4，+8。
5人の 点数の 平均は 何点？ □

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正の数・負の数」のプリント一覧がひらきます

診断テスト［B］

中1／直ったか 確かめる 20問／目標 20分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・次の20問を解いて、答えを □ に書く。計算は余白か別の紙でする。わからなければとばす。
・①④は 正しい方を ○ でかこむ。③は 2つ以上 あるとき「, 」で 好きな 順に 書く。
・分数は 約分。小数も ○。−は 省かない。+ と 単位は なくても ○。素因数分解は 2^2 でも 2×2 でも ○。

① 基準より 高い ときを + と する。
基準より 4℃ 低い ことを 数で 表すと？

+4 ℃　　−4 ℃

② −4.5 より 大きく 3 より 小さい
整数は 何個 ありますか。

③ 絶対値が 7 の 数を
すべて 書く

④ −7 と −3 の 大小

−7 < −3　　−7 > −3

⑤ $(+5) + (-12)$

⑥ $(-8) + (-3)$

⑦ $(+3) - (-8)$

⑧ $(-12) - (+7)$

⑨ $-6 + 3 - 8$

⑩ $(-6) \times (-3)$

⑪ $(-3) \times (-2) \times (-2)$

⑫ $(-12) \div (-\frac{3}{4})$

⑬ -4^2

⑭ $(\frac{3}{4})^2$

⑮ $7 + (-4) \times 3$

⑯ $(-18) \times (\frac{1}{6} - \frac{2}{3})$

⑰ 84 を 素因数分解

⑱ 40 に できるだけ 小さい 自然数 n を
かけて 自然数の 2乗に する
n は いくつ？

⑲ 身長を 基準との 差で 表すと，最高は +6cm，
最低は −5cm。この 2人の
差は 何cm？

⑳ 5人の 点数を 基準 70点との 差で 表すと
+4，−6，+2，−3，+8。
5人の 点数の 平均は 何点？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正の数・負の数」のプリント一覧がひらきます

診断テスト［A］【こたえ】

中1／つまずきを 見つける 20問／目標 20分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

問	正答	この答えなら ×	つまずき	やるところ（記事の小単元）
①	−3 kg	+3 kg	反対の性質の言いかえ	正の数・負の数で表す
②	5	4	0 を 数え落とす	正の数・負の数で表す
③	+3 と −3	3	片方の 数だけ 答える	数直線と絶対値
④	−5 < −2	−5 > −2	負の数を絶対値で比べる	数の大小
⑤	−5	+5	符号を 前の数に そろえる	加法
⑥	−10	−2	同符号で絶対値をひく	加法
⑦	7	−3	ひく数の符号の変え忘れ	減法
⑧	−17	+9	ひかれる数も 変える	減法
⑨	−12	6	項の − を 見落とす	加減の混じった式
⑩	8	−8	負×負を負に	乗法
⑪	−6	6	負の数の個数の数え違い	乗法
⑫	9	4	÷分数で 逆数に しない	除法
⑬	−9	9	かっこの 有無を 読まない	累乗
⑭	$\frac{4}{9}$	$\frac{4}{3}$	分数の累乗で分子だけ	累乗
⑮	−1	4	加減を先に	四則の計算の順序
⑯	5	−13	分配で 符号を 落とす	分配法則を使う計算
⑰	$2^2\times3\times5$	$2^2\times15$	素数でない数で止める	素因数分解
⑱	3	2	平方数にする数の選び方	素因数分解の利用（平方数）
⑲	12	4	最大と最小の差で符号	基準との差で表す
⑳	52	2	仮平均で基準を足し忘れ	仮平均

×が ついた 問（番号）を 小単元ごとに 数える。×が 多い 小単元から、同じ数なら 上の 行から やる

正の数・負の数で表す	①②	×（ ）／2
数直線と絶対値	③	×（ ）／1
数の大小	④	×（ ）／1
加法	⑤⑥	×（ ）／2
減法	⑦⑧	×（ ）／2
加減の混じった式	⑨	×（ ）／1
乗法	⑩⑪	×（ ）／2
除法	⑫	×（ ）／1

累乗	⑬⑭	×（ ）／2
四則の計算の順序	⑮	×（ ）／1
分配法則を使う計算	⑯	×（ ）／1
素因数分解	⑰	×（ ）／1
素因数分解の利用（平方数）	⑱	×（ ）／1
基準との差で表す	⑲	×（ ）／1
仮平均	⑳	×（ ）／1

①は 重い方を + とするので「軽い」は −3 kg。②は −3，−2，−1，0，1 の5個（0を 数え忘れると 4個で ×）。
③は 原点から 3 はなれた 数で +3 と −3 の2つ。④は 数直線で −5 は −2 より 左なので −5 < −2。
⑩⑪は 負の数が 偶数個なら +、奇数個なら −（⑩は 2個→+8、⑪は 3個→−6）。
⑬ -3^2 は 3^2 に − を つけた −9（$(-3)^2$ なら 9）。⑭ $(2/3)^2 = 2^2/3^2 = 4/9$（分母も 2乗）。
⑮ かけ算が 先で $-3\times2=-6$、$5+(-6)=-1$。⑯ $(-12)\times(1/3)=-4$，$(-12)\times(-3/4)=+9$ で $-4+9=5$。
⑰ $60=2^2\times3\times5$（素数だけの かけ算に なるまで 分ける）。⑱ $48=2^4\times3$ なので 3 を かけて $144=12^2$。
⑲ $8-(-4)=12$。⑳ 差の 平均は $(3-2+5-4+8)\div5=2$ なので $50+2=52$（2 だけは 基準を たし忘れで ×）。
丸つけ ③は「3，−3」「±3」でも ○。⑰は $2\times2\times3\times5$ でも ○。⑭は 4/9 だけ ○（約分前の 8/18 などは ×）。
声かけの 例 符号 →「負の数は 何個 あった？」 かっこ →「−と ( ) の どちらが 先？」 順序 →「かけ算と たし算、どちらから？」

診断テスト［B］【こたえ】

中1／直ったか 確かめる 20問／目標 20分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

問	正答	この答えなら ×	つまずき	やるところ（記事の小単元）
①	−4 ℃	+4 ℃	反対の性質の言いかえ	正の数・負の数で表す
②	7	6	0 を 数え落とす	正の数・負の数で表す
③	+7 と −7	7	片方の 数だけ 答える	数直線と絶対値
④	−7 < −3	−7 > −3	負の数を絶対値で比べる	数の大小
⑤	−7	+7	符号を 前の数に そろえる	加法
⑥	−11	−5	同符号で絶対値をひく	加法
⑦	11	−5	ひく数の符号の変え忘れ	減法
⑧	−19	+5	ひかれる数も 変える	減法
⑨	−11	5	項の − を 見落とす	加減の混じった式
⑩	18	−18	負×負を負に	乗法
⑪	−12	12	負の数の個数の数え違い	乗法
⑫	16	9	÷分数で 逆数に しない	除法
⑬	−16	16	かっこの 有無を 読まない	累乗
⑭	$\frac{9}{16}$	$\frac{9}{4}$	分数の累乗で分子だけ	累乗
⑮	−5	9	加減を先に	四則の計算の順序
⑯	9	−15	分配で 符号を 落とす	分配法則を使う計算
⑰	$2^2\times3\times7$	$2^2\times21$	素数でない数で止める	素因数分解
⑱	10	2	平方数にする数の選び方	素因数分解の利用（平方数）
⑲	11	1	最大と最小の差で符号	基準との差で表す
⑳	71	1	仮平均で基準を足し忘れ	仮平均

×が ついた 問（番号）を 小単元ごとに 数える。×が 多い 小単元から、同じ数なら 上の 行から やる

正の数・負の数で表す	①②	×（ ）／2	累乗	⑬⑭	×（ ）／2
数直線と絶対値	③	×（ ）／1	四則の計算の順序	⑮	×（ ）／1
数の大小	④	×（ ）／1	分配法則を使う計算	⑯	×（ ）／1
加法	⑤⑥	×（ ）／2	素因数分解	⑰	×（ ）／1
減法	⑦⑧	×（ ）／2	素因数分解の利用（平方数）	⑱	×（ ）／1
加減の混じった式	⑨	×（ ）／1	基準との差で表す	⑲	×（ ）／1
乗法	⑩⑪	×（ ）／2	仮平均	⑳	×（ ）／1
除法	⑫	×（ ）／1			

①は 高い方を + とするので「低い」は −4 ℃。②は −4，−3，−2，−1，0，1，2 の7個（0を 数え忘れると 6個で ×）。
③は 原点から 7 はなれた 数で +7 と −7 の2つ。④は 数直線で −7 は −3 より 左なので −7 < −3。
⑩⑪は 負の数が 偶数個なら +、奇数個なら −（⑩は 2個→+18、⑪は 3個→−12）。
⑬ -4^2 は 4^2 に − を つけた −16（$(-4)^2$ なら 16）。⑭ $(3/4)^2 = 3^2/4^2 = 9/16$（分母も 2乗）。
⑮ かけ算が 先で $(-4)\times3=-12$、$7+(-12)=-5$。⑯ $(-18)\times(1/6)=-3$，$(-18)\times(-2/3)=+12$ で $-3+12=9$。
⑰ $84=2^2\times3\times7$（素数だけの かけ算に なるまで 分ける）。⑱ $40=2^3\times5$ なので $2\times5=10$ を かけて $400=20^2$。
⑲ $6-(-5)=11$。⑳ 差の 平均は $(4-6+2-3+8)\div5=1$ なので 70+1＝71（1 だけは 基準を たし忘れで ×）。
丸つけ ③は「7，−7」「±7」でも ○。⑰は $2\times2\times3\times7$ でも ○。⑭は 9/16 だけ ○（約分前の 18/32 などは ×）。
声かけの 例 符号 →「負の数は 何個 あった？」 かっこ →「−と ( ) の どちらが 先？」 順序 →「かけ算と たし算、どちらから？」